

寄付・寄贈

おおさかのりきょうどうくみあいさま
大阪海苔協同組合様

とくめいきぼうしゃ めいさま じゅんみどう
匿名希望者 3名様 (順不同)

ありがとうございました。心より感謝申し上げます。

(令和8年3月16日～令和8年6月30日)

寄付金(令和7年度)累計額 4,558,700円

寄付金(令和8年度)累計額 70,000円

総会及び決算報告

会員31名(委任状72名)の方々にご参加いただき、通常開催させていただきました。第1号議案の「令和7年度事業報告」についてや第2号議案の「令和7年度決算報告・監査報告」、第3号議案の「令和8年度事業計画(案)」、第4号議案の「令和8年度予算(案)」について説明を行い、皆様より可決承認されました。決算報告の事業活動収入につきまして、生活介護、短期入所、相談支援等を中心に、新規利用者の増加や稼働率向上により、全体として増収傾向となりました。支出につきまして、人件費では、各事業の専任職員の増員、按分率変更等を行ったことにより、事業ごとに増減が生じております。また、経費では20周年記念事業等の実施により行事費が増加しております。以上の結果で、当期活動収支差額が26,100,223円となりました。

事業活動収支計算書

(自)令和7年4月1日(至)令和8年3月31日

		勘定科目	本年度決算
事業活動収支の部	収入	自立支援費等収入	364,237,586
		補助事業等収入	3,929,788
		利用料収入	12,904,816
		処遇改善交付金収入	42,100,167
		就労事業収入	778,572
		寄附金収入	6,693,900
		雑収入	2,759,343
事業活動収支の部	支出	事業活動収入計(1)	433,404,172
		人件費支出	339,184,564
		事務費支出	29,994,775
		事業費支出	30,362,440
		減価償却費	11,078,622
		事業活動支出計(2)	410,620,401
		事業活動収支差額(3)=(1)-(2)	22,783,771
事業活動外収支の部	収入	受取利息配当金収入	275,907
		経理区分間繰入金収入	2,807,939
		事業活動外収入計(4)	3,083,846
	支出	借入金利息支出	282,513
		経理区分間繰入金支出	2,807,939
		事業外雑損失	22,350
		事業活動外支出計(5)	3,112,802
特別収支の部	収入	施設整備等補助金収入	3,320,000
		その他の特別収入	43,598
		特別収入計(8)	3,363,598
	支出	固定資産売却損・処分損(売却原価)	0
		その他の特別損失	18,190
		特別支出計(9)	18,190
		特別収支差額(10)=(8)-(9)	3,345,408
差額・収支	当期活動収支差額(11)=(7)+(10)	前期繰越活動収支差額(12)	26,100,223
		当期末繰越活動収支差額(13)=(11)+(12)	194,182,250
		次期繰越活動収支差額(18)=(13)+(14)-(15)+(16)-(17)	220,282,473
		当期活動収支差額(18)=(13)+(14)-(15)+(16)-(17)	220,282,473

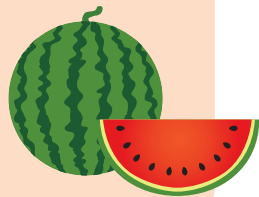
貸借対照表

令和8年3月31日 現在

資産の部	
流動資産	477,765,005
現金	1,036,630
預金	107,660,607
未収金	356,973,439
貯蔵品	297,452
立替金	442,527
前払金	11,354,350
固定資産	347,341,628
基本財産	307,633,687
建物	171,262,625
土地	136,271,062
その他の固定資産	39,807,941
建物付属設備	6,714,729
構築物	2,899,487
車輛運搬具	7,273,868
器具及び備品	2,458,199
ソフトウェア	220,000
建設積立預金	20,241,658
資産の部合計	825,106,633
負債の部	
流動負債	321,209,693
未払金	320,810,593
預り金	399,100
固定負債	19,864,000
設備資金借入金	19,864,000
負債の部合計	341,073,693
純資産の部	
基本金	218,750,467
3号基本金	218,750,467
その他の積立金	45,000,000
人件費積立金	15,000,000
修繕積立金	15,000,000
備品等購入積立金	15,000,000
次期繰越活動収支差額	220,282,473
次期繰越活動収支差額	220,282,473
(うち当期活動収支差額)	26,100,223
純資産の部合計	484,032,940
負債及び純資産の部合計	825,106,633

編集後記

皆様におかれましては、向暑の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。本号では、花見レクリエーションをはじめとする春の行事の様子をお届けするとともに、トイレセンサーの導入や日本財団様より助成していただいたキャラバンの納車など、ご利用者の安心・安全につながる新たな取組についてご報告しております。設立20周年という節目を迎え、当法人は「次の20年」に向けて新たな一歩を踏み出しました。先進的な機器の導入やICT・AIの活用を進めながらも、その根底にあるのは、ご利用者一人ひとりの暮らしに寄り添うという変わらぬ思いです。これからも、地域で安心して暮らせる環境づくりに、職員一同力を合わせて努めてまいります。本誌へのご支援とご愛読を心よりお願い申し上げます。(担当:森・池田)



特定非営利活動法人 だんでらいおん

たんぽぽ通信

令和8年夏号

No.50

—— 障がいの重度化・高齢化、親の高齢化に対応できる共生型の施設作り及び地域社会を目指して ——

発行元: 特定非営利活動法人

だんでらいおん

発行責任者: 久保 哲哉

〒546-0023
おおさかしひかしずみやくや
大阪市東住吉区矢田5-9-8

TEL: 06-7668-1101

発行日: 令和8年7月25日



理事長

久保 哲哉

次の20年に向けて

～令和8年度事業計画から見える、だんでらいおんの新たな挑戦～

法人は設立20周年という大きな節目を迎え、令和8年度から次の成長段階へ歩みを進めます。これまで私たちは、重度障がいのある方や強度行動障がいのある方の地域生活を支えることを使命として、一人ひとりの暮らしに寄り添った支援を積み重ねてきました。その専門性と経験を土台に、令和8年度は「支援の質の向上」「人材の安定確保」「持続可能な組織づくり」を三本柱として様々な取組を進めていきます。

①利用者の安心と安全をさらに高める

近年、ご利用者の高齢化や重度化が進み、転倒や骨折などのリスクへの対応が重要な課題となっています。そこで令和8年度は、グループホームの床材を衝撃吸収性の高いものへ改修するほか、手すりの設置など安全対策を計画的に進めます。また、医療機関や訪問看護との連携を強化し、往診体制の充実や緊急時対応の強化にも取り組みます。さらに、地域生活支援拠点としての機能を本格的に運用し、24時間対応体制や夜間緊急対応管理体制を整備することで、ご利用者のご家族がより安心して地域生活を続けられる環境づくりを進めます。

②重度障がい者支援の受け皿として

当法人では大阪市との協議を重ねながら、事業再編を進めてきました。今後はグループホーム、短期入所、生活介護、居宅介護など各事業の連携をさらに強化し、重度障がい者や強度行動障がいのある方が地域で暮らせる体制づくりを進めます。相談支援を中心に、住まい・日中活動・訪問支援を切れ目なく結び付けることで、地域における重要な受け皿としての役割を果たしていきます。

③人を大切にする法人であり続けるために

福祉業界では人材確保が大きな課題となっています。当法人では、処遇改善による賃上げや働きやすい職場環境づくりを進めるとともに、ICTやAIを活用した業務効率化に取り組みます。記録業務や情報共有の負担を軽減し、職員が利用者支援に集中できる環境を整備していきます。また、令和8年度からは特定技能外国人材の受け入れを開始する予定です。国籍や文化の違いを尊重しながら、日本人職員と外国人職員が共に学び、共に成長できる「共生型の職場づくり」を目指します。

④ 50年続く法人を目指して

私たちは今、「だんでらいおん50年構想」を見据えています。人口減少や人材不足が進む2040年以降も、利用者の皆さまに選ばれ続ける法人であるために、新たな委員会を設置し、サービスの質向上、生産性向上、人材育成について継続的な検討を進めます。また、災害時の電源確保を目的とした電気自動車(EV)や給電設備の導入検討など、防災・BCP対策にも力を入れていきます。

利用者の皆さま、ご家族、地域の皆さまに支えられながら歩んできた20年。その感謝を胸に、これからも「地域で安心して暮らせる社会」の実現に向けて、一歩ずつ挑戦を続けてまいります。今後ともご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

はなみ 花見レクリエーション

●生活介護事業所リアン 平野 リーダー

令和8年4月6日、生活介護の新年度最初の行事として、鶴見緑地公園にて花見レクリエーションを開催しました。前日まで悪天候で風雨が強く、せっかくの桜が散ってしまうのではないかと心配していましたが、当日は快晴で最高のお花見日和となりました。桜はまだ満開で、芝生広場にも水たまりがなく、良いコンディションで実施することができました。会場はほとんどアップダウンがなく、車椅子をご利用のご利用者もスムーズに会場されました。到着後は、満開の桜を背景に参加者全員で集合写真を撮影しました。「はい、チーズ」の掛け声に合わせてピースサインをされたり、好きなポーズをされたりして、和やかな雰囲気でした。昼食は例年好評のマス弁当で、今年はバージョンアップした「3色ご飯の彩り9マス弁当」を用意しました。班ごとにビニールシートに座り、桜を眺めながらご利用者と職員と一緒にいただきました。うれしそうに迷いながら好きなものから召し上がる方、あっという間に完食される方など、それぞれにお花見の食事を楽しまれていました。食後のレクリエーションでは、事業所対抗で「桜の木を完成させよう!」というゲームを行いました。職員手作りの段ボール製の桜の木の2本の枝に、みんなで桜の花を貼り付け、どちらが早く満開になるかを競いました。リレー形式のはずが、気付けば皆さん一斉に桜の木に向かって貼り付けるというハプニングもありましたが、勝敗に関わらず、2本とも満開の桜の木が完成しました。「シャボン玉を作ろう」では、大小のシャボン玉を作ったり、見たり、触ったりして、思い思いに楽しまれていました。また、職員と一緒に散策し、桜の花びらが舞う中で、手のひらで花びらを受け止める姿も見られました。各自のペースで過ごした後は、自動販売機で好きな飲み物を購入されていました。さわやかな晴天と満開の桜の下、皆さん笑顔で過ごすことができました。来年も思い出に残る、楽しいお花見を開催したいと思います。



日本財団 キャラバン納車のご報告

このたび、公益財団法人 日本財団 様より福祉車両助成を賜り、車椅子仕様車「キャラバン」を導入いたしました。近年、法人内でも車椅子をご利用されるご利用者が増加しており、より安全で快適な送迎体制の充実が求められていました。新車両の導入により、通院や外出、地域活動への参加支援がさらに充実するものと期待しております。今回の温かいご支援を励みに、今後も地域福祉の向上に努め、ご利用者に寄り添った支援を続けてまいります。このたびのご厚意に深く御礼申し上げます。



トイレセンサー補助金採択 導入のご報告

このたび、大阪市が実施する「障がい福祉分野におけるロボット等導入支援事業」の補助金に採択され、グループホームへのトイレセンサーを導入いたしました。トイレセンサーは、ご利用者がトイレを使用している状況をセンサーで把握し、トイレの状況把握や記録ができる機器です。プライバシーを守りながら見守ることができ、ご利用者が安心して生活できる環境づくりに役立てることができます。2026年5月に設置が完了し、活用を開始しています。今後も、このような先進的な機器の導入を通じて、ご利用者一人ひとりへのより丁寧な支援に取り組んでまいります。



昇格職員挨拶



法人本部
課長 池田 信宏

このたびの昇進にあたり、一言ご挨拶申し上げます。入職より8年が経過し、総務部に籍を置きながらご利用者の支援にも携わる中で、システム開発や業務改善といったバックアップ業務を通じて支援現場を支えてまいりました。ここまで歩んでこられたのは、ご利用者をはじめ、ご家族の皆様、共に働く職員のおかげと、心より感謝申し上げます。課長という職責を担うにあたり、初心を忘れることなくご利用者一人ひとりに寄り添った支援の質向上に貢献してまいります。また、職員一人ひとりが働きやすい環境づくりに努め、法人のさらなる発展に尽力していく所存です。これからも皆様とともに歩んでまいりたいと思いますので、引き続きよろしくお願い申し上げます。



生活介護事業所リアン
副主任 三村 俊

このたび、副主任に昇格することとなりました。これもひとえに、日頃より皆様から賜っております温かいご指導とご支援のおかげと、心より感謝申し上げます。新たな立場に就くにあたり、身の引き締まる思いとともに、これまで以上に責任の重さを痛感しております。今後は、支援の質の向上と業務の効率化を図りながら、チーム全体の連携を一層強化し、ご利用者の皆様が楽しく安全に過ごせる居場所づくりと、より良い職場環境づくりに貢献してまいります。また、自らの研鑽にも努め、周囲から信頼される存在となれるよう精進いたします。未熟な点もございますが、引き続きご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

新入職員挨拶



生活介護事業所リアン
はまの 支援員

令和8年4月1日より、ひだまり班の生活支援員として勤務しております。ひだまり班のご利用者と出会ってまだ間もないですが、明るく元気いっぱいの皆様と一緒に活動できる毎日を、大変嬉しく感じております。北海道旭川市の出身です。前職では、成年後見人の業務に従事しておりました。サッカーが大好きで、体は大きくなって心はまだまだ幼い高校1年生の息子と、アニメの推し活に夢中でマイペースな中学1年生の娘と過ごす時間が、日々の楽しみです。まずは新しい環境に慣れることを目標に、少しでも早くご利用者との信頼関係を築けるよう努力してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。